# 蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）が継続＞
蔵王山では、22 日 16 時 24 分頃に継続時間のやや長い火山性微動が発生しました。本日 23 日に現地調査を実施した結果、御釜や丸山沢の噴気、振子沢の状況に特段の変化はみられず、火山活動に特段の変化はみられませんでした。
2013 年以降火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、火山活動はやや高まった状態にありましたが、以前の状況に戻りつつあります。今後の火山活動の推移に注意してください。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

**・噴気など表面現象の状況（図１～図５）**

本日（23日）実施した現地調査では、御釜周辺に噴気及び地熱域[1)]はみられませんでした。また、丸山沢の地熱や噴気の状況は、前回（2016年６月２日）と比較して特段の変化は認められませんでした。

**・地震や微動の発生状況（図６）**

火山性地震は、昨日は３回、本日 16 時 00 分までに１回観測されました。
火山性微動は、昨日 16 時 24 分頃に発生して以降、発生していません。

1）赤外熱映像装置による観測。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（http://www.jma-net.go.jp/sendai/）や、気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50ｍメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号　平 26 情使、第 578 号）。

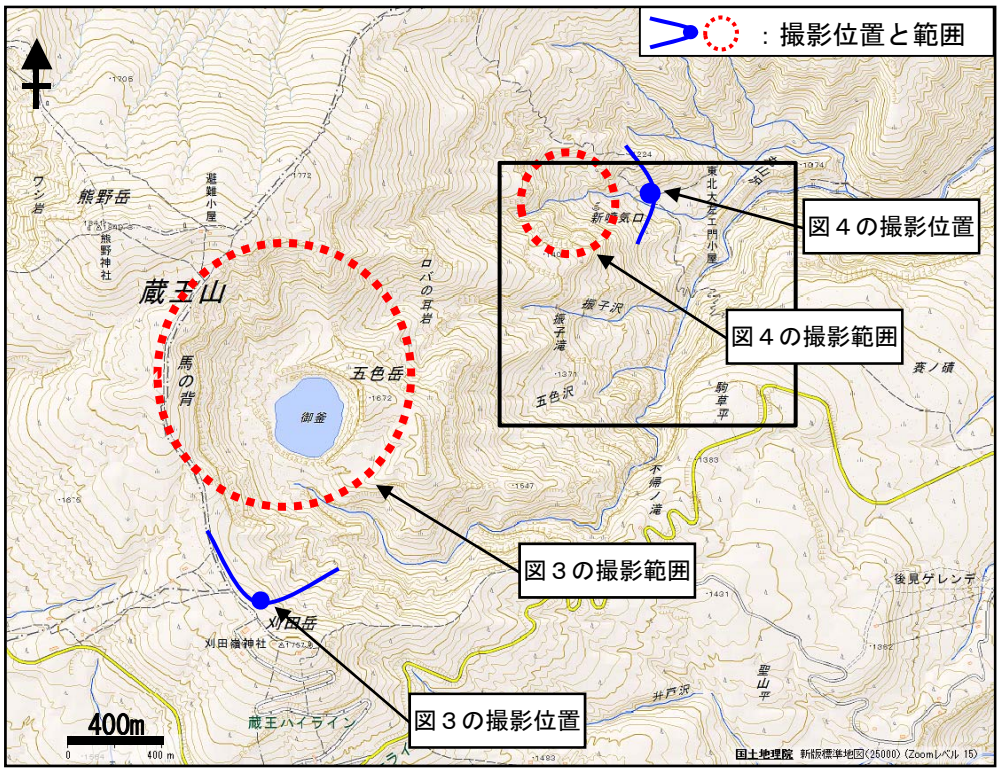



**図１　蔵王山　御釜・丸山沢噴気地熱地帯周辺の写真と地表面温度分布[1)] 撮影位置及び範囲**

・図中黒線領域は図２の範囲を示します。

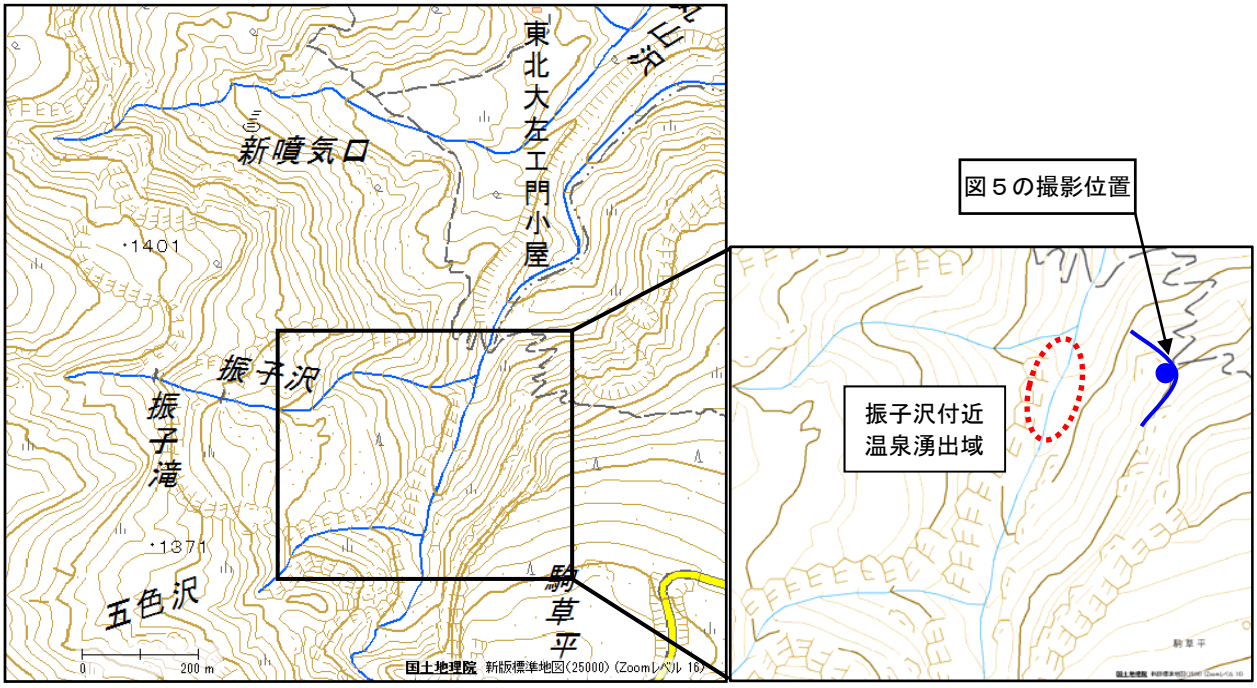
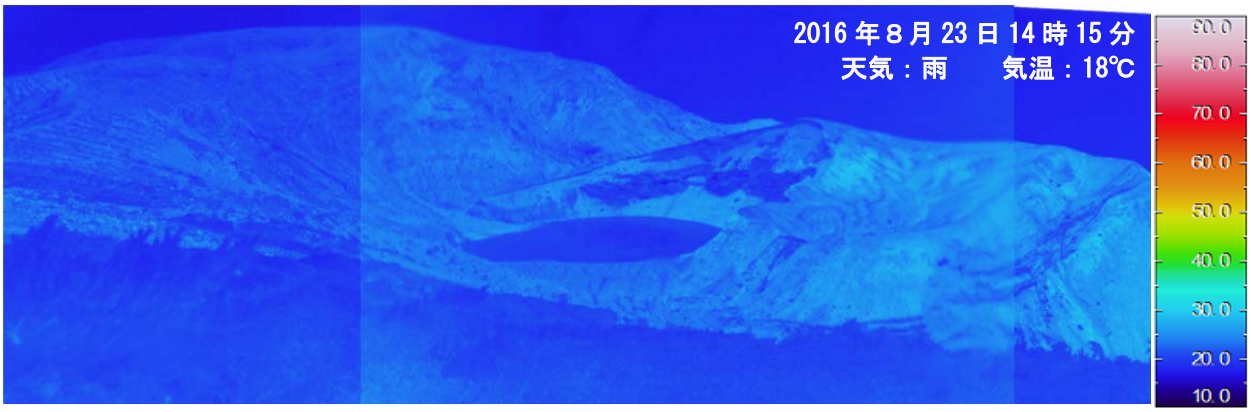



**図２　蔵王山　振子沢（新関温泉跡）周辺の写真と地表面温度分布撮影位置及び範囲**



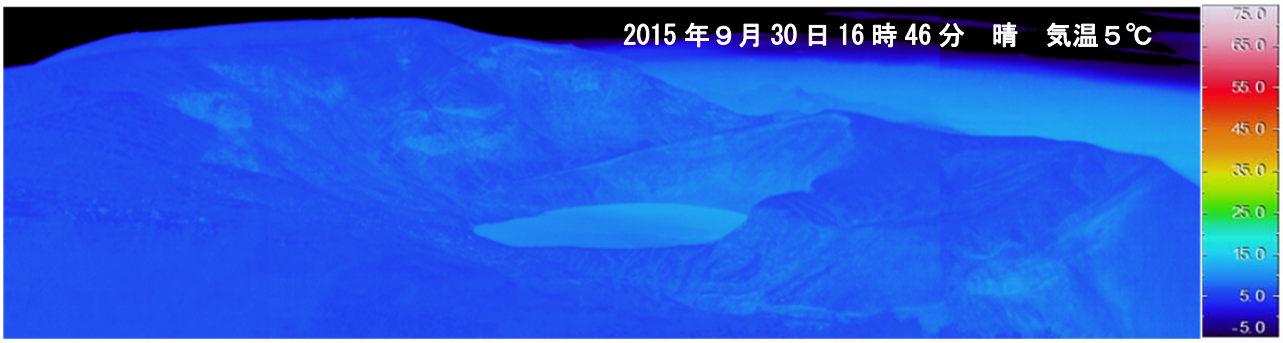
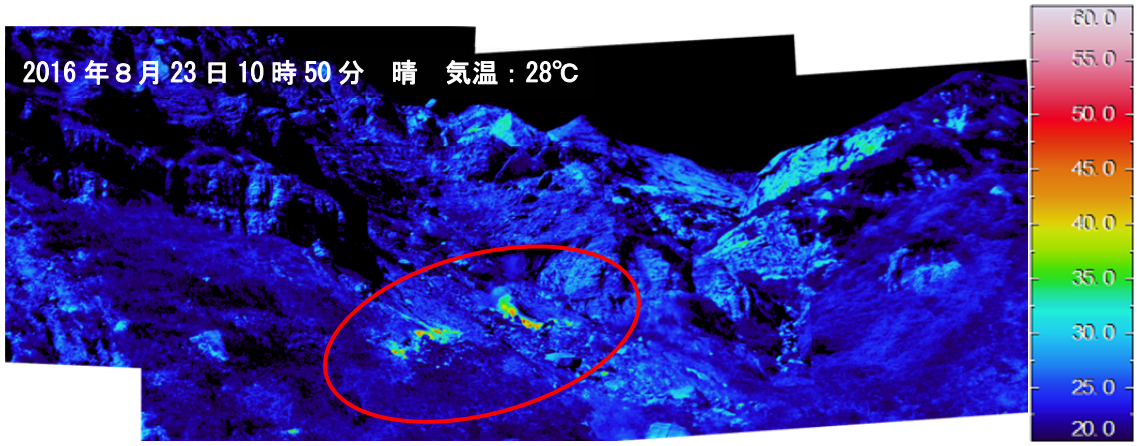


**図３　蔵王山　御釜周辺の状況**
・前回（2015 年９月 30 日）と比較して、御釜周辺に噴気及び地熱域はみられませんでした。
（※周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）



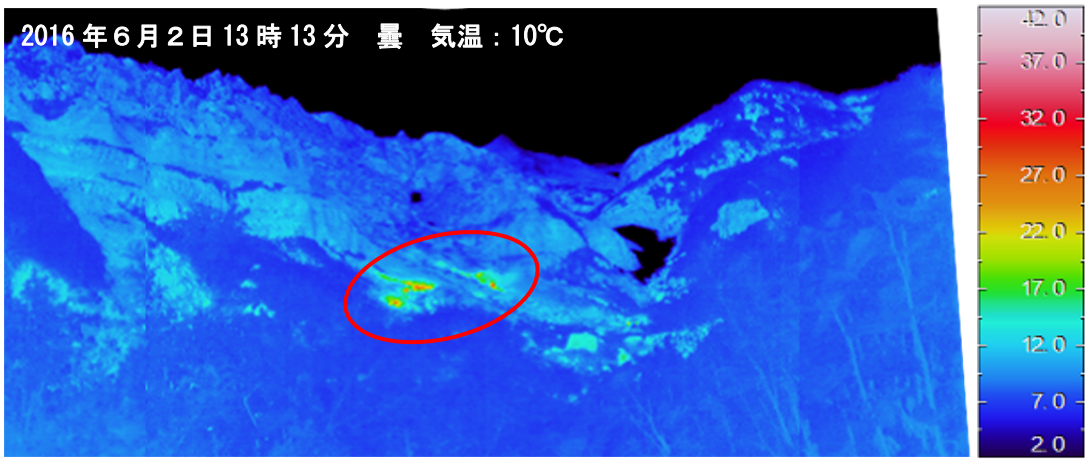


**図４　蔵王山　東方向から撮影した丸山沢の状況と地表面温度分布**

・前回（2016 年６月２日）と比較して、地熱域（実線赤丸内）や噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。

（※周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

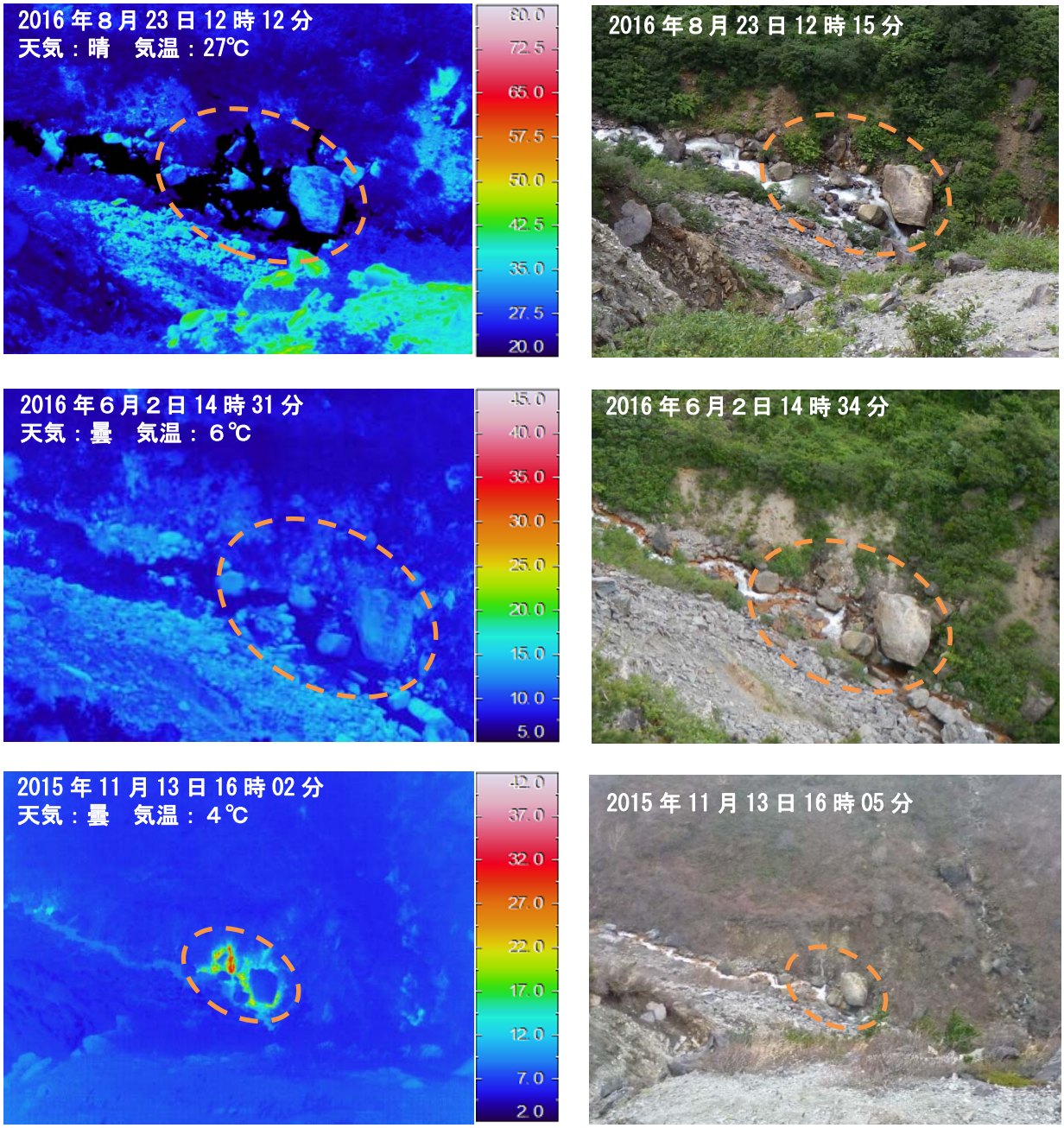



**図５　蔵王山　振子沢付近の状況と地表面温度分布**

・昨年（2015年）みられていた温泉湧出箇所（破線橙丸内）において、高温域は認められませんでした。
（※周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

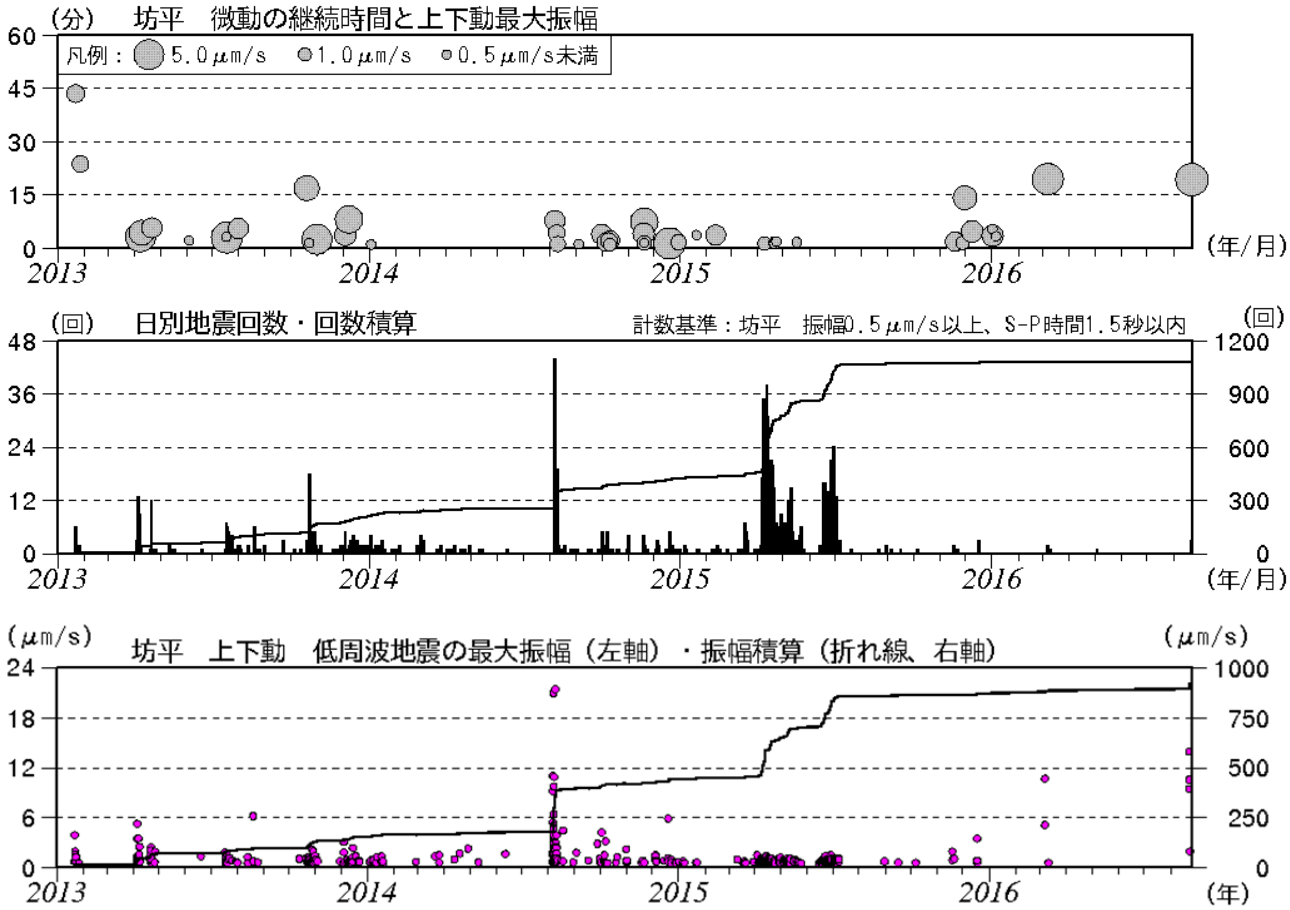



**図６　蔵王山　火山活動経過図（2013 年１月～2016 年８月 23 日 16 時 00 分）**
・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

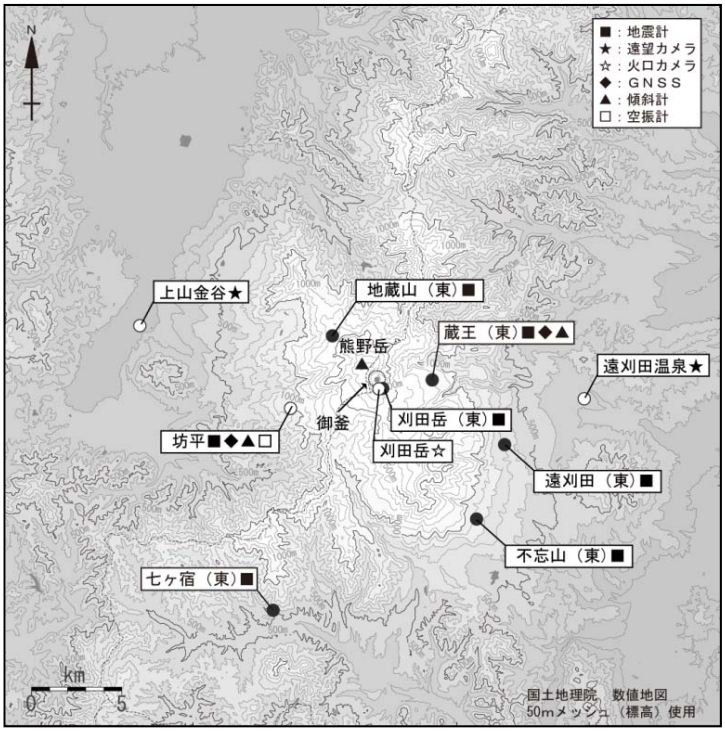



**図７　蔵王山　観測点配置図**
小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（東）：東北大学